

## ぼんじゅーる修太通信

創刊号  
Mar. 2001

発行 ボンジュール修太事務局

〒550-0012  
大阪市西区立売堀6-6-6-801  
TEL 06-6231-3640



この度は、ボンジュール修太会の会報誌を出して頂くことになり、心より皆様のご支援に感謝いたします。喜家冥利に帰します。

このボンジュール修太会で画家としてできる事は、『人々の心に残る作品を描く事』と思い努力し、佳い作品を描き続けていきたいと思っております。ありがとうございます。



### 新作によせて 綾小路 整

天を突くばかりの柱に、大地の生命を感じます。この地球が、無い宇宙を支えているのだという気概があるのです。人間の営みとは、そういうとてつもない偉大なことなのだ。柱は語っていません。空も海も丘も雲も、それを静かに、見守っています。



カプリの眺め (20F)

### 取材旅行から——



イタリアのカプリ島は、冬にもかかわらず、極かく美しい風景を私にあたえてくれるところです。

新たな一枚の絵ができそうです—— カプリ島にて 森崎修太



### 展覧会でのちょっといい話

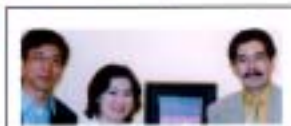
#### 娘三人への贈りものー

ちょっと暇れ屋でキャップ帽の格好いいお父さんが、オープン早々、小品3点をご買約くださった。会期の終わりに、「父が選んでくれた絵、見にきました…」という弾んだ女性の声の傍らには、やさしそうなお主人がニコニコ……嬉しい娘への、ぶっさらぼうなお父さんからのプレゼントは、お洒落で暖かく、“博多気質”に触れた1コマでした。 2000. 5 (石崎院)



### 展覧会場でのスナップ

2000. 5 博多 2001. 3 東京



#### 展覧会スケジュール

- ◇ 7月18日(水)～24日(火)  
神戸阪急 6F 画廊
- ◇ 11月20日(火)～26日(月)  
三越仙台店 7F ギャラリー  
いずれも、会期中 画架来場

#### アトリエより 秋のある日

柳屋での三回目の展覧を控え、秋日はすくなくいっばいに、精進をとる時。色の調子を見る時、サインの前、新芽の吹く道、愛犬メリーとの散歩も、季節はなぜか少し長くなった。もう集中力あるのみ… (顔)